

大名兒	彼方野邊介	苧草乃	束之間毛	吾忘目八	万葉集 卷二 110 草壁皇太子
大名兒が	彼方野辺に	刈る草の	束の間も	わが忘れめや	
おほなこが	をちかたのべに	かるかやの	つかのあひだも	わがわすれめや	
大名兒が	遠くの野辺で	刈る草の束	その束の間も	私が忘れようか	
https://kochi-esc.sakura.ne.jp/wordpress/%e4%b8%87%e8%91%89%e3%81%ae%e5%9c%b0%e5%ad%a6/					